

微生物のちからをかりて

放っておくと土壌の通気性・透水性悪化につながるサッチ。今回はサッチ分解を促進する資材「PB-50錠剤」に含まれる菌、ペニシリウム・ビライーについてご紹介します。

“サッチ”とは、芝の根元に堆積した芝カスなどのことで、放っておくと厚い層を形成し、土壌の通気性・透水性を悪化させます。そのため、定期的に取り除くことが望ましいのですが、物理的に取り除くサッチング（熊手などで芝の根元にたまった芝カスを掻き出して除去する）作業は、専用の機械が必要だったり、人力でやるにはなかなか大変なものです。そこで考えられたのが、微生物の力をかりるという方法です。

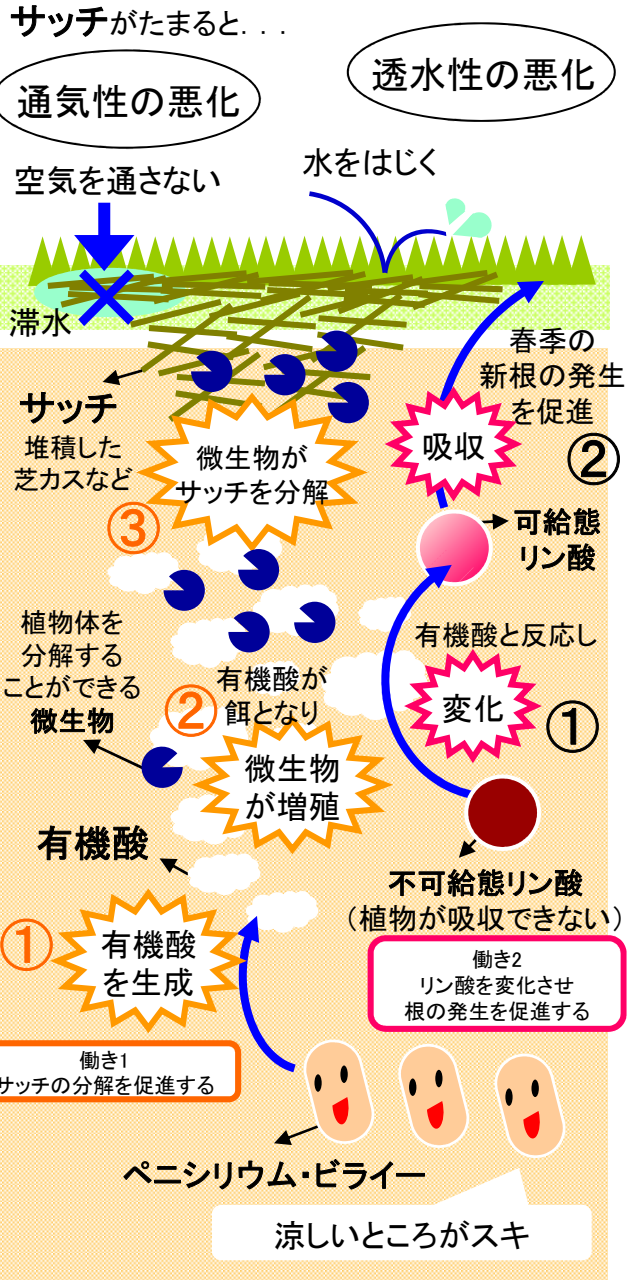
「PB-50錠剤」は“ペニシリウム・ビライー”という菌を製品化したもので、水に溶かして散布することで、菌がサッチの分解を促進してくれます。また、リン酸を植物が利用できる状態に変化させる効果も期待できます(右図)。

言わずもがな、「PB-50」の“PB”とは、“ペニシリウム・ビライー”のことです。“ペニシリウム”とはペニシリウム (*Penicillium*) 属の総称で、通称“アオカビ属”とも呼ばれます。抗生物質として有名なペニシリンもこの仲間です。

“ペニシリウム・ビライー”はそれ自体に植物体を分解する能力はありません。土壌中に生息する、“植物体を分解することのできる微生物”にとって有用な物質（有機酸）を生成することにより、その活動を助けます。

また、“ペニシリウム・ビライー”は涼しいところが好きのため、剤の保存や使用の際は20℃以上にならない様注意しなくてはなりません（11月から3月に使用してください）。保存は冷蔵庫で、送る際はクール便が基本です。

ペニシリウム・ビライーのはたらき(イメージ)



細菌は、人間にとっての有用性から“カビ”や“酵母”と呼び名が変わりますが、カビと呼ばれるものでも重宝されているものはいろいろあります（アオカビチーズなど）。世界中で、人間にとって有用な働きをする菌を探して日夜研究が行われており（おそらく）、ペニシリウム・ビライーのようにその働きを発掘され、商品化される菌は、今後も増えていくことでしょう。微生物の力を賢くかりて、健康な芝生をつくりましょう。

製品紹介

PB-50錠剤

微生物の力で冬の間にもサッチを分解



- 一般名称：微生物サッチ分解資材
- 内容成分：ペニシリウム・ビラヤー
1.0×10⁹CFU/g
- 製造元：保土谷化学工業株式会社
- 包装：0.2g/錠、50錠入り/箱
- 施用目安：0.001g/m²(水量1L/m²)

- 北の自然界に存在する微生物ペニシリウム・ビラヤーを利用した資材です。微量の使用で、高いサッチ分解効果が得られます。
- 低温期でのサッチ分解能力が高く、高温期までにゆっくりとサッチを分解します。
- 低温期処理後、春の生育時に根を伸長させ、根数を増大させます。

- 地温20℃以上では使用しないでください。使用時期は秋(11月頃)から春(3月頃)に限ります。
- 製品は冷蔵庫内で保管して下さい。
- 殺菌剤との混用はできません。また殺菌剤使用前後2週間以内の散布はしないでください。
- 殺菌剤を使用したタンクを使う場合は、タンク内をよく洗浄してご使用ください。

バイオシュートEX

バチルス菌の酵素でサッチを分解



- 一般名称：微生物サッチ分解資材
- 内容成分：バチルス菌(生芽胞)
5X10⁹cfu/g配合
- 製造元：エス・ディー・エスバイオテック
- 包装：500g/袋、10袋入り/ケース
- 施用目安：0.2~0.4g/m²
(水量200~500ml/m²)

- サッチの減少により、土壌処理型除草剤の効果の向上が期待できます。
- 土壌の透水性、通気性が高まります。
- 植物の発根を促進し、植物が本来持っている抵抗力を高めることで、病害の予防に繋がります。

- 日中の地温が10℃以上で使用してください。
- サッチが多い場合は、春と秋の2回散布が効果的です。

ベースエイト

通常土壌の1000倍の微生物数で土壌改良



- 一般名称：高濃度微生物剤
- 内容成分：天然フミン酸コロイド培養液
- 製造元：サンパワーズ株式会社
- 包装：10L/缶
- 施用目安：20~200倍希釈

- 自然土壌の1000倍の微生物を含有し、悪臭除去・土壌改良・堆肥化促進・植物の病害予防・水質浄化など、様々な効果を発揮します。
- 複数の浄菌や発酵合成型の微生物による優れた分解・脱臭効果により、悪臭物質を速やかに無臭物質に変換します。

- 25℃以上になると、微生物の活性が高くなり、溶存酸素の消耗が激しくなります。また、90℃以上ではほとんどの微生物は死滅します。
- 冷暗所で保管してください。
- 5℃以下からは、休眠状態に入り氷点下でも死滅することはありません。

取扱い・お問合せは—



緑を育み、未来へつなぐ

株式会社サカエグリーン

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968